

牛のようにゆっくり着実に...

新しい年の始まりです。2009年の干支は「己丑」。うしは、十二支の2番目、ぐうていもくはんすうるい偶蹄目反芻類ウシ科の動物です。胃が4つあって反芻することはよく知られています。

日本でも戦前は、農耕や運搬などに盛んに役牛が活躍していましたが、最近ではそうした風景はあまり見かけなくなりました。ウシが家畜として飼われたのは新石器時代あたりが起源といわれていて、日本では縄文時代にウシが飼われていたという説もあります。このように人との付き合いが長いウシは私たちの生活に深く関わっていることがうかがえます。

そこで今回、うし年のみなさんから抱負や夢を語ってもらいました。



1961(昭和36年)生まれ

伊藤 昌彦さん(大安町)

現在、350頭のウシを飼っています。いなべのブランド牛として知名度が上がるよう、また、顔が見える(安心安全)生産を目指して頑張っています。

今年がうし年で自分の干支ということで、自信をもっておいしく食べていただけるウシを育てていければと思います。

親子でうし年!



1997(平成9年)生まれ

伊藤 駿介さん(藤原町)

藤原スポーツ少年団に入っています。みんなでがんばって、いなべ市の大会で優勝したいです。



1961(昭和36年)生まれ

伊藤 博巳さん(藤原町)

息子2人が少年野球で頑張っていますので、今年もいっしょに参加し、親子で喜びや悔しさを味わいたいです。

1985(昭和60年)生まれ

後藤 友梨香さん(北勢町)

私は温泉が大好きなので、いろんな土地の温泉に入っていっぱい疲れを癒したいと思います。あと、やりたい事がたくさんあるので、全部挑戦したいです!!



1985(昭和60年)生まれ

前田 あきなさん(北勢町)

趣味や仕事など挑戦する気持ちを忘れずに、少しずつでもいいので前進していきたいです。そして、友達や周りにいる人たちを大切に楽しく充実した1年にします!

年頭のあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日ごろは市民のみなさまにご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、世界は今、かつてない経済危機に見舞われています。いなべ市も例外ではなく、景気の後退は税収の急激な落ち込みを招き、いなべ市の財政を圧迫しています。今までと同じようにお金を使っているのは、いなべ市の財政は破綻します。みなさん、少しご不便をお掛けしますが、歳出の削減にご協力いただけませんか。みなさんの協力のもとにこの危機を乗り越えたいと思います。

また、昨年9月には過去に例をみない豪雨に見舞われ、鈴鹿山麓を中心に大きな被害を受けました。これも地球の温暖化が原因ともいわれています。かけがえのない地球を次の世代に引き継げるよう、温暖化防止に一人ひとりが取り組まなくてはなりません。

ところで、今年は丑(牛)年。ひと昔前まで、農家では農耕用の牛が飼われ、玄関のすぐ隣は厩舎となっていました。牛は労働力であるとともに、家族の一員でもありました。当時の生活は質素で地球の温暖化とは無縁の暮らしでした。今更、昔の生活に戻るのは無理ですが、環境に優しい暮らし(エコライフ)を始めませんか、できることから。今年も宜しくお願い申し上げます。



いなべ市長
日沖 靖

親子でうし年!



1925(大正14年)生まれ

清水 節生さん (大安町)

画歴35年、子どものころから絵が好きで現在では絵を描くことが日課になっています。充実した趣味の世界にどっぷり浸りながら、うしのようにゆっくりのんびりそして力強く生きていきたいです。

1949(昭和24年)生まれ

清水 和廣さん (大安町)

絵を描くこと、おやじバンド、野菜づくりが私のライフワークです。いろんな人に絵や音楽を通して“LOVE&PEACE(愛と平和)”を伝えていきたいです。

1997(平成9年)生まれ

佐藤 朱華さん (員弁町)

今年は6年生。いろんなことに挑戦し楽しい小学校生活にしたいです。

また、6年生だけが演奏できる特別楽器(私はキーボード)を練習して素晴らしい鼓笛演奏を運動会で披露したいです。



1925(大正14年)生まれ

正木富美子さん (員弁町)

趣味の講座を開いたり、給食ボランティアをしたり、旅の企画をしたりと毎日忙しくしています。

元気で長生きする秘訣は、人とおしゃべりすることだと思いますので、これからもさまざまな活動をしていきたいです。

